

書籍紹介のご案内

コンクリート部材の表層透気性評価 のためのガイドライン

編集：(一社)日本非破壊検査協会 編集委員長 今本 啓一
体裁：A4版, 104頁
発行：令和5年10月30日
定価：定価3,630円(税込)(送料別)

コンクリート構造物の耐久性におけるコンクリート表層品質の重要性は一般的に知られるところである。一方、この表層は、複数の工程を経た所産として出来上がるものであり、それ故にテストピースなどで必ずしも評価できるものではない(図-1)。こらが原位置における表層品質試験に関する研究の背景であり、これを気体の透気性の観点から評価したものが表層透気試験である。

透気試験の研究分野においては、1980年中盤から各種の試験方法が活発に提案され、それをキャッチアップする形で RILEM (建設材料・構造に関わる国際研究機関・専門家連合) に TC (Technical Committee) が設立されてきた(図-2)。

この表層透気試験方法について、(一社)日

本非破壊検査協会において、国内でも汎用的に用いられるようになってきた図-2 中下線の方法に関する規格 NDIS 3436 が 2020年8月に制定された。この規格は各試験装置を用いてコンクリートの表層透気性を正しく測定するためのものであるが、一方で構造物は必ずしも均質ではなく、透気性に及ぼす不確定要素が多い。これら試験方法を、実務において部材としての評価を行うために考慮すべきポイント、内容について取りまとめたものが、本ガイドラインである。

本ガイドラインが鉄筋コンクリート構造物の適切な施工・維持管理のための一助となることを期待する。

(まえがきより抜粋)

